

國學院大學学術情報リポジトリ

第120巻総目録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/545

第120巻総目録

〔分類索引〕

総記

情報科学

- ルーマニアの図書館（小特集 図書館と書物の世界） 須 永 和 之 120-2
エボラ出血熱文献のビブリオメトリックスとテキスト・マイニングを利用した
計量的分析（小特集 図書館と書物の世界） 青 木 仕 120-2
図書館における障害者サービスとテキストデータの可能性
—基礎情報学からみた情報アクセシビリティ—
（小特集 図書館と書物の世界） 西 田 洋 平 120-2

図書館・図書館学

- 國學院大學図書館小史付分類規程（小特集 図書館と書物の世界）
古 山 悟 由 120-2
ルーマニアの図書館（小特集 図書館と書物の世界） 須 永 和 之 120-2
エボラ出血熱文献のビブリオメトリックスとテキスト・マイニングを利用した
計量的分析（小特集 図書館と書物の世界） 青 木 仕 120-2
図書館における障害者サービスとテキストデータの可能性
—基礎情報学からみた情報アクセシビリティ—
（小特集 図書館と書物の世界） 西 田 洋 平 120-2
大学におけるMLA連携 —國學院大學を一事例として検証する—
（小特集 図書館と書物の世界） 安 達 匠 120-2

図書・書誌学

- 江戸期広域出版流通の一形態 —本の取次と葉の取次の関わり—
（小特集 図書館と書物の世界） 大 和 博 幸 120-2
古代日本の蒐書と蔵書 —日本上代文学形成の前提条件—
（小特集 図書館と書物の世界） 土 佐 秀 里 120-2
エボラ出血熱文献のビブリオメトリックスとテキスト・マイニングを利用した
計量的分析（小特集 図書館と書物の世界） 青 木 仕 120-2

博物館

- 台湾における大学博物館の一考察 —「国立台湾大学博物館群」を中心に—
鄒 海 寧 120-1
大学におけるMLA連携 —國學院大學を一事例として検証する—
（小特集 図書館と書物の世界） 安 達 匠 120-2

神谷邦淑「博物館」における引用文献に関する一考察

—ジェームズ・ファーガソン著 *History of the Modern Styles of Architecture*—

山内智子 120-10

哲学

哲学各論

道徳の自然化と反自然主義的な道徳的实在論の一つの可能性

金杉武司 120-9

宇宙から地球をながめる

松谷容作 120-12

倫理学・道徳

道徳の自然化と反自然主義的な道徳的实在論の一つの可能性

金杉武司 120-9

宗教

「バラモンと悪漢」のプロットの発展について

岩瀬由佳 120-5

神道

江戸時代における神道裁許状の様式の変遷

松本勇介 120-6

平田篤胤『仙境異聞』の編成過程 —〈語り〉と書物のあいだ—

遠藤潤 120-7

大嘗祭 —陪膳采女の作法と祝詞を中心に—

(特集 御代替りの歴史と伝統)

岡田莊司 120-11

「中臣寿詞」の「天つ水」再考 —「水の祭儀」論の再検討—

(特集 御代替りの歴史と伝統)

笹生衛 120-11

古代の皇位継承における神霊についての試論 (特集 御代替りの歴史と伝統)

小林宣彦 120-11

大嘗祭の場と祭祀構造 —神今食・新嘗祭との比較から—

(特集 御代替りの歴史と伝統)

木村大樹 120-11

院政期大嘗会供膳の「秘説」について (特集 御代替りの歴史と伝統)

加瀬直弥 120-11

近世大嘗祭に於ける荒見川祓の研究

—儀式次第と作法・祓具の分析を手掛かりとして—

(特集 御代替りの歴史と伝統)

吉永博彰 120-11

明治大嘗祭再考 —祭政と文明と— (特集 御代替りの歴史と伝統)

武田秀章 120-11

大正大礼における神社界の活動 —全国神職会と皇典講究所を中心に—

(特集 御代替りの歴史と伝統)

藤田大誠 120-11

大正維新における「国家ノ宗祀」神社観 —朝日平吾をてがかりに—

(特集 御代替りの歴史と伝統) 畔 上 直 樹 120-11

愛知県における「誓の御柱」(特集 御代替りの歴史と伝統)

昆 野 伸 幸 120-11

歴史

日本史

[古代]

古代日本の蒐書と蔵書 —日本上代文学形成の前提条件—

(小特集 図書館と書物の世界) 土 佐 秀 里 120-2

大嘗祭 —陪膳采女の作法と祝詞を中心に— (特集 御代替りの歴史と伝統)

岡 田 莊 司 120-11

「中臣寿詞」の「天つ水」再考 —「水の祭儀」論の再検討—

(特集 御代替りの歴史と伝統) 笹 生 衛 120-11

『古事記』天皇御代替りの記載形式 (特集 御代替りの歴史と伝統)

谷 口 雅 博 120-11

日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事 (特集 御代替りの歴史と伝統)

月 岡 道 晴 120-11

古代の皇位継承における神霊についての試論

(特集 御代替りの歴史と伝統) 小 林 宣 彦 120-11

讓位制の成立とその展開 (特集 御代替りの歴史と伝統)

佐 藤 長 門 120-11

大嘗祭の場と祭祀構造 —神今食・新嘗祭との比較から—

(特集 御代替りの歴史と伝統) 木 村 大 樹 120-11

[中古]

大嘗祭 —陪膳采女の作法と祝詞を中心に— (特集 御代替りの歴史と伝統)

岡 田 莊 司 120-11

[中世]

「源平合戦図屏風(一の谷・屋島合戦図屏風)」諸本の改変方法と関連資料

—『平治物語絵巻』や「平家物語扇面絵」など— 伊 藤 悦 子 120-4

大嘗祭 —陪膳采女の作法と祝詞を中心に— (特集 御代替りの歴史と伝統)

岡 田 莊 司 120-11

院政期大嘗会供膳の「秘説」について (特集 御代替りの歴史と伝統)

加 瀬 直 弥 120-11

中近世移行期の皇位継承と武家権力 (特集 御代替りの歴史と伝統)

矢 部 健太郎 120-11

『吾妻鏡』の文書利用について —頼経將軍記を中心に—

高 橋 秀 樹 120-12

[近世]

「源平合戦図屏風（一の谷・屋島合戦図屏風）」諸本の改変方法と関連資料

—『平治物語絵巻』や「平家物語扇面絵」など— 伊 藤 悦 子 120-4

江戸時代における神道裁許状の様式の変遷 松 本 勇 介 120-6

平田篤胤『仙境異聞』の編成過程 —〈語り〉と書物のあいだ—

遠 藤 潤 120-7

大嘗祭 —陪膳采女の作法と祝詞を中心に— (特集 御代替りの歴史と伝統)

岡 田 莊 司 120-11

中近世移行期の皇位継承と武家権力 (特集 御代替りの歴史と伝統)

矢 部 健太郎 120-11

近世大嘗祭に於ける荒見川祓の研究

—儀式次第と作法・祓具の分析を手掛かりとして—

(特集 御代替りの歴史と伝統) 吉 永 博 彰 120-11

[近代以後]

旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）における生産活動 小 寺 瑛 広 120-5

京浜工業地帯における浴場業の展開

—昭和戦前期の横浜市鶴見区を事例として— 吉 田 律 人 120-10

大正大礼における神社界の活動 —全国神職会と皇典講究所を中心に—

(特集 御代替りの歴史と伝統) 藤 田 大 誠 120-11

大正維新における「国家ノ宗祀」神社観 —朝日平吾をてがかりに—

(特集 御代替りの歴史と伝統) 畔 上 直 樹 120-11

愛知県における「誓の御柱」(特集 御代替りの歴史と伝統)

昆 野 伸 幸 120-11

皇室祭祀の意義と現状 (特集 御代替りの歴史と伝統) 茂 木 貞 純 120-11

アジア史・東洋史

台湾における大学博物館の一考察 —「国立台湾大学博物館群」を中心に—

鄒 海 寧 120-1

北アメリカ史

冷戦初期アメリカの女性と軍事 —アンナ・ローゼンバーグの事例から—

浅 井 理恵子 120-1

地理・地誌・紀行

猪苗代「疏水路実測図」の表現内容と制作目的 (学生懸賞論文)

竹 内 百合香 120-7

社会科学

「ヤンバル」についての意識と実態

—観光客実態調査および計量テキスト分析を用いて—

大谷 健太郎・伊藤 孝行 120-1

政治

「おことば」と皇室典範特例法に関する憲法的一考察

(特集 御代替りの歴史と伝統)

小 島 伸 之 120-11

法律

「おことば」と皇室典範特例法に関する憲法的一考察

(特集 御代替りの歴史と伝統)

小 島 伸 之 120-11

社会

京浜工業地帯における浴場業の展開

—昭和戦前期の横浜市鶴見区を事例として—

吉 田 律 人 120-10

教育

兎か狐か教育者か —ブッカー・T・ワシントンが「文学嫌い」な理由—

福 井 崇 史 120-1

風俗習慣・民俗学・民族学

昔話「嫁の輿に牛」の研究 —古典および世界との比較—

花 部 英 雄 120-3

日本における貧乏神譚の研究 (学生懸賞論文)

羽 鳥 佑 亮 120-7

国防・軍事

冷戦初期アメリカの女性と軍事 —アンナ・ローゼンバーグの事例から—

浅 井 理恵子 120-1

医学・薬学

エボラ出血熱文献のビブリオメトリックスとテキスト・マイニングを利用した

計量的分析 (小特集 図書館と書物の世界)

青 木 仕 120-2

産業

園芸・農園

旧徳川昭武庭園 (戸定邸庭園) における生産活動

小 寺 瑛 広 120-5

芸術・美術

絵画・書道

「源平合戦図屏風 (一の谷・屋島合戦図屏風)」諸本の改変方法と関連資料

—『平治物語絵巻』や「平家物語扇面絵」など—

伊 藤 悦 子 120-4

浮世絵師・歌川国芳による「背面肖像」と「地獄模様の衣裳」に関する考察

平井倫行 120-6

版画

浮世絵師・歌川国芳による「背面肖像」と「地獄模様の衣裳」に関する考察

平井倫行 120-6

写真・印刷

宇宙から地球をながめる

松谷容作 120-12

工芸

浮世絵師・歌川国芳による「背面肖像」と「地獄模様の衣裳」に関する考察

平井倫行 120-6

演劇・映画

宇宙から地球をながめる

松谷容作 120-12

言語

日本語

「ヤンバル」についての意識と実態

—観光客実態調査および計量テキスト分析を用いて—

大谷健太郎・伊藤孝行 120-1

第三人称人物主体「〈…む〉とす」表現の読解

—その「む」の多くを意志と認識するのは共同幻想か—

中村幸弘 120-3

「召し寄す」の通常語形

呉寧真 120-4

『徒然草』コソ係結文の構造と兼好の認識の論理

中村幸弘 120-9

文学

日本文学

古代日本の蒐書と蔵書 —日本上代文学形成の前提条件—

(小特集 図書館と書物の世界)

土佐秀里 120-2

「源平合戦図屏風(一の谷・屋島合戦図屏風)」諸本の改変方法と関連資料

—『平治物語絵巻』や「平家物語扇面絵」など—

伊藤悦子 120-4

日本における貧乏神譚の研究 (学生懸賞論文)

羽鳥佑亮 120-7

詩歌

[古代]

梅の花の歌の成立

大石泰夫 120-10

[中世]

『為兼卿和歌抄』論 —相応したるあはひ—

海老原昌宏 120-12

小説・物語

[古代]

『古事記』天皇御代替りの記載形式（特集 御代替りの歴史と伝統）

谷 口 雅 博 120-11

日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事（特集 御代替りの歴史と伝統）

月 岡 道 晴 120-11

天の羽衣考 —天皇はなぜ天の羽衣を着るのか—

（特集 御代替りの歴史と伝統）

山 岡 敬 和 120-11

[中古]

「物語」はいつ「閉じられる」のか —「現代常識」が誕生する時—

山 田 利 博 120-1

第三人称人物主体「〈…む〉とす」表現の読解

—その「む」の多くを意志と認識するのは共同幻想か—

中 村 幸 弘 120-3

『源氏物語』「疑ひなき儲けの君」考

吉 海 直 人 120-4

〈鳴く虫〉・〈前栽掘り〉の興 —平安物語研究のために—

飯 沼 清 子 120-5

『夜の寝覚』末尾欠陥部分をめぐって —最新の二断簡の解釈を中心に—

大 槻 福 子 120-6

『源氏物語』漢籍典拠小考

—「まことの聖にはしけれ」と「白虹日を貫けり」—

陸 穎 瑤 120-8

『源氏物語』藤壺の死

—臨終場面における光源氏との関わりから—

春 日 美 穂 120-8

「物語」の表現方法

—『竹取物語』末尾の「矛盾」を手がかりに—

山 田 利 博 120-10

天の羽衣考 —天皇はなぜ天の羽衣を着るのか—

（特集 御代替りの歴史と伝統）

山 岡 敬 和 120-11

[中世]

「物語」はいつ「閉じられる」のか —「現代常識」が誕生する時—

山 田 利 博 120-1

[近世]

江戸期広域出版流通の一形態 —本の取次と葉の取次の関わり—

（小特集 図書館と書物の世界）

大 和 博 幸 120-2

天明期の春町作黄表紙と南畝

中 村 正 明 120-4

[近代以後]

森敦文学のレファレンス機能 —小説・エッセイ・年譜の相関関係—

(小特集 図書館と書物の世界) 井 上 明 芳 120-2

多和田葉子「献灯使」に描かれた〈老い〉—身体と認識との差異—

安 西 晋 二 120-7

評論・エッセイ・随筆

[中世]

第三人称人物主体「〈…む〉とす」表現の読解

—その「む」の多くを意志と認識するのは共同幻想か—

中 村 幸 弘 120-3

『徒然草』コソ係結文の構造と兼好の認識の論理

中 村 幸 弘 120-9

日記・書簡・紀行

[中古]

第三人称人物主体「〈…む〉とす」表現の読解

—その「む」の多くを意志と認識するのは共同幻想か—

中 村 幸 弘 120-3

木村正辞筆本『和泉式部物語』とその周辺

—横山由清との交流から黒川本の伝来へ及ぶ—

岡 田 貴 憲 120-5

漢詩文・日本漢文学

[古代]

日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事（特集 御代替りの歴史と伝統）

月 岡 道 晴 120-11

中国文学・その他の東洋文学

杜甫「慈恩寺塔」詩をめぐって

川 合 康 三 120-3

謝冰心とエレン・ラモット『ペキン・ダスト』

—異文化接触における不幸な邂逅—

牧 野 格 子 120-8

『源氏物語』漢籍典拠小考

—「まことの聖にはしけれ」と「白虹日を貫けり」—

陸 穎 瑤 120-8

英米文学

兎か狐か教育者か —ブッカー・T・ワシントンが「文学嫌い」な理由—

福 井 崇 史 120-1

「英語文学」作品を読む

山 西 治 男 120-6

フランス文学

空気と鏡像 —ラミュ晩年の短篇小説における空間描写—

笠 間 直穂子 120-9

その他の諸文学

- 「バラモンと悪漢」のプロットの発展について 岩 瀬 由 佳 120-5
空気と鏡像 ―ラミュ晩年の短篇小説における空間描写―
笠 間 直穂子 120-9

資料紹介

- 新出キリシタン版・リオ本『日葡辞書』について
白井 純・タシロ エリザ 120-3

書評

- 谷口雅博著『風土記説話の表現世界』 橋 本 雅 之 120-1
斎藤菜穂子著『蜻蛉日記新考―兼家妻として「書く」ということ―』
福 家 俊 幸 120-1
余耀著『中国の日系企業のニーズとビジネス日本語教育』
村 澤 慶 昭 120-1
小柳智一著『文法変化の研究』 古賀 裕章・西村 義樹 120-3
上野誠著『万葉文化論』 土 佐 秀 里 120-6
塩川哲朗著『古代の祭祀構造と伊勢神宮』 佐 野 真 人 120-7
南方熊楠著、杉山和也・志村真幸・岸本昌也・伊藤慎吾編『熊楠と猫』
田 村 義 也 120-8
叶希著『ビジネス日本語における条件表現―日本語教育の観点から―』
湯 浅 彩 央 120-9
塚越義幸著『芭蕉俳諧に表現された漢詩文の研究』 安 保 博 史 120-10
小野諒已著『倭建命物語論 古事記の抒情表現』 烏 谷 知 子 120-10
吉田永弘著『転換する日本語文法』 小 柳 智 一 120-10
竹内はるか著『東西アクセント境界地帯方言の変化―三重県北中部―』
岸 江 信 介 120-12
内海紀子・小澤純・平浩一編『太宰治と戦争』 山 路 敦 史 120-12

紹介

- 石本道明・青木洋司著『論語 朱熹の本文訳と別解』 松 野 敏 之 120-3
山口輝臣編『戦後史のなかの「国家神道」』 藤 本 頼 生 120-4
嵐義人著『余蘊孤抄―碩学の日本史余話』 渡 邊 卓 120-4
新谷尚紀編『民俗伝承学の視点と方法―新しい歴史学への招待―』
服 部 比呂美 120-5
上野誠著『折口信夫的思考 越境する民俗学者』 小 川 直 之 120-6

談話室

國學院大學での幸運	久野マリ子	120-1
柳田折口と國學院への感謝	新谷尚紀	120-3
アメリカでの調査	牧野格子	120-4
「アート、サイエンス、テクノロジー、倫理をつなぐ プラットフォーム形成のための調査研究」を終えて	松谷容作	120-5
論理と信仰：シドッチからインド仏教	渡辺俊和	120-6
すれ違いからのリベンジ	高橋秀樹	120-7
終止形接続の助動詞	小田勝	120-8
浮世絵は海をこえ、時をこえて	藤澤紫	120-9
台湾中央研究院でのポストク	エリック・シッケタンツ	120-10
「魔術から科学へ」という歴史観は正しいのか？	高橋誠	120-12

論文評

「博物館」の用語に関する論文の評価と研究姿勢について	山本哲也	120-12
----------------------------	------	--------

インタビュー

道標	川合康三	120-6
道標	ピーター・J・マックミラン	120-9

座談会

「外国語を使う」とは何か—習得、教育、そして可能性—	新倉真矢子 黒澤直道 藤野敬介 小池寿子 (司会) スピアーズ・スコット	120-3
----------------------------	--	-------

〔執筆者索引（五十音順）〕

- 青 木 仕 エボラ出血熱文献のビブリオメトリックスと
テキスト・マイニングを利用した計量的分析
（小特集 図書館と書物の世界） 120-2
- 浅 井 理恵子 冷戦初期アメリカの女性と軍事
—アンナ・ローゼンバーグの事例から— 120-1
- 畔 上 直 樹 大正維新における「国家ノ宗祀」神社観
—朝日平吾をてがかりに—
（特集 御代替りの歴史と伝統） 120-11
- 安 達 匠 大学におけるMLA連携
—國學院大學を一事例として検証する—
（小特集 図書館と書物の世界） 120-2
- 安 保 博 史 塚越義幸著『芭蕉俳諧に表現された漢詩文の研究』（書評）
120-10
- 安 西 晋 二 多和田葉子「献灯使」に描かれた〈老い〉
—身体と認識との差異— 120-7
- 飯 沼 清 子 〈鳴く虫〉・〈前栽掘り〉の興 —平安物語研究のために—
120-5
- 伊 藤 悦 子 「源平合戦図屏風（一の谷・屋島合戦図屏風）」諸本の
改変方法と関連資料
—『平治物語絵巻』や「平家物語扇面絵」など— 120-4
- 伊 藤 孝 行 「ヤンバル」についての意識と実態
—観光客実態調査および計量テキスト分析を用いて—
120-1
- 井 上 明 芳 森敦文学のレファレンス機能
—小説・エッセイ・年譜の相関関係—
（小特集 図書館と書物の世界） 120-2
- 岩 瀬 由 佳 「パラモンと悪漢」のプロットの発展について 120-5
- 海老原 昌 宏 『為兼卿和歌抄』論 —相応したるあはひ— 120-12
- 遠 藤 潤 平田篤胤『仙境異聞』の編成過程
—〈語り〉と書物のあいだ— 120-7
- 大 石 泰 夫 梅の花の歌の成立 120-10
- 大 谷 健太郎 「ヤンバル」についての意識と実態
—観光客実態調査および計量テキスト分析を用いて—
120-1

大 槻 福 子	『夜の寝覚』 末尾欠陥部分をめぐって —最新の二断簡の解釈を中心に—	120 - 6
大 和 博 幸	江戸期広域出版流通の一形態 —本の取次と葉の取次の関わり— (小特集 図書館と書物の世界)	120 - 2
岡 田 莊 司	大嘗祭 —陪膳采女の作法と祝詞を中心に— (特集 御代替りの歴史と伝統)	120 - 11
岡 田 貴 憲	木村正辞筆本『和泉式部物語』とその周辺 —横山由清との交流から黒川本の伝来へ及ぶ—	120 - 5
小 川 直 之	上野誠著『折口信夫の思考 越境する民俗学者』(紹介)	120 - 6
小 田 勝	終止形接続の助動詞 (談話室)	120 - 8
笠 間 直穂子	空気と鏡像 —ラミュ晩年の短篇小説における空間描写—	120 - 9
春 日 美 穂	『源氏物語』 藤壺の死 —臨終場面における光源氏との関わりから—	120 - 8
加 瀬 直 弥	院政期大嘗会供膳の「秘説」について (特集 御代替りの歴史と伝統)	120 - 11
金 杉 武 司	道德の自然化と反自然主義的な道德的实在論の一つの可能性	120 - 9
烏 谷 知 子	小野諒巳著『倭建命物語論 古事記の抒情表現』(書評)	120 - 10
川 合 康 三	杜甫「慈恩寺塔」詩をめぐって	120 - 3
川 合 康 三	道標 川合 康三 氏 (インタビュー)	120 - 6
岸 江 信 介	竹内はるか著『東西アクセント境界地帯方言の変化 —三重県北中部—』(書評)	120 - 12
木 村 大 樹	大嘗祭の場と祭祀構造 —神今食・新嘗祭との比較から— (特集 御代替りの歴史と伝統)	120 - 11
久 野 マリ子	國學院大學での幸運 (談話室)	120 - 1
黒 澤 直 道	「外国語を使う」とは何か —習得、教育、そして可能性— (座談会)	120 - 3
小 池 寿 子	「外国語を使う」とは何か —習得、教育、そして可能性— (座談会)	120 - 3
古 賀 裕 章	小柳智一著『文法変化の研究』(書評)	120 - 3
小 島 伸 之	「おことば」と皇室典範特例法に関する憲法的一考察 (特集 御代替りの歴史と伝統)	120 - 11
小 寺 瑛 広	旧徳川昭武庭園 (戸定邸庭園) における生産活動	120 - 5
呉 寧 真	「召し寄す」の通常語形	120 - 4

小 林 宣 彦	古代の皇位継承における神璽についての試論 (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
小 柳 智 一	吉田永弘著『転換する日本語文法』(書評)	120-10
古 山 悟 由	國學院大學図書館小史付分類規程 (小特集 図書館と書物の世界)	120-2
昆 野 伸 幸	愛知県における「誓の御柱」 (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
笹 生 衛	「中臣寿詞」の「天つ水」再考 —「水の祭儀」論の再検討— (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
佐 藤 長 門	讓位制の成立とその展開 (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
佐 野 真 人	塩川哲朗著『古代の祭祀構造と伊勢神宮』(書評)	120-7
エリック・シッケタンツ	台湾中央研究院でのポストク (談話室)	120-10
白 井 純	新出キリシタン版・リオ本『日葡辞書』について (資料紹介)	120-3
新 谷 尚 紀	柳田折口と國學院への感謝 (談話室)	120-3
鄒 海 寧	台湾における大学博物館の一考察 —「国立台湾大学博物館群」を中心に—	120-1
須 永 和 之	ルーマニアの図書館 (小特集 図書館と書物の世界)	120-2
スピアーズ・スコット	「外国語を使う」とは何か —習得、教育、そして可能性— (座談会)	120-3
高 橋 秀 樹	すれ違いからのリベンジ (談話室)	120-7
高 橋 秀 樹	『吾妻鏡』の文書利用について —頼経將軍記を中心に—	120-12
高 橋 誠	「魔術から科学へ」という歴史観は正しいのか? (談話室)	120-12
竹 内 百合香	猪苗代「疏水路実測図」の表現内容と制作目的 (学生懸賞論文)	120-7
武 田 秀 章	明治大嘗祭再考 —祭政と文明と— (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
タシロ・エリザ	新出キリシタン版・リオ本『日葡辞書』について (資料紹介)	120-3
谷 口 雅 博	『古事記』天皇御代替わりの記載形式 (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
田 村 義 也	南方熊楠著、杉山和也・志村真幸・岸本昌也・伊藤慎吾編 『熊楠と猫』(書評)	120-8

月 岡 道 晴	日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事 (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
土 佐 秀 里	古代日本の蒐書と蔵書 ―日本上代文学形成の前提条件― (小特集 図書館と書物の世界)	120-2
土 佐 秀 里	上野誠著『万葉文化論』(書評)	120-6
中 村 正 明	天明期の春町作黄表紙と南畝	120-4
中 村 幸 弘	第三人称人物主体「〈…む〉とす」表現の読解 ―その「む」の多くを意志と認識するのは共同幻想か―	120-3
中 村 幸 弘	『徒然草』コソ係結文の構造と兼好の認識の論理	120-9
新 倉 真矢子	「外国語を使う」とは何か ―習得、教育、そして可能性― (座談会)	120-3
西 田 洋 平	図書館における障害者サービスとテキストデータの可能性 ―基礎情報学からみた情報アクセシビリティ― (小特集 図書館と書物の世界)	120-2
西 村 義 樹	小柳智一著『文法変化の研究』(書評)	120-3
橋 本 雅 之	谷口雅博著『風土記説話の表現世界』(書評)	120-1
服 部 比呂美	新谷尚紀編『民俗伝承学の視点と方法 ―新しい歴史学への招待―』(紹介)	120-5
羽 鳥 佑 亮	日本における貧乏神譚の研究 (学生懸賞論文)	120-7
花 部 英 雄	昔話「嫁の輿に牛」の研究 ―古典および世界との比較―	120-3
平 井 倫 行	浮世絵師・歌川国芳による「背面肖像」と 「地獄模様の衣裳」に関する考察	120-6
福 井 崇 史	兎か狐か教育者か ―ブッカー・T・ワシントンが「文学嫌い」な理由―	120-1
福 家 俊 幸	斎藤菜穂子著『蜻蛉日記新考 ―兼家妻として「書く」ということ―』(書評)	120-1
藤 澤 紫	浮世絵は海をこえ、時をこえて (談話室)	120-9
藤 田 大 誠	大正大礼における神社界の活動 ―全国神職会と皇典講究所を中心に― (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
藤 野 敬 介	「外国語を使う」とは何か ―習得、教育、そして可能性― (座談会)	120-3
藤 本 頼 生	山口輝臣編『戦後史のなかの「国家神道」』(紹介)	120-4
牧 野 格 子	アメリカでの調査 (談話室)	120-4

牧 野 格 子	謝冰心とエレン・ラモット『ベキン・ダスト』 —異文化接触における不幸な邂逅—	120-8
ピーター・J・マックミラン	道標 翻訳家 ピーター・J・マックミラン氏 (インタビュー)	120-9
松 谷 容 作	「アート、サイエンス、テクノロジー、倫理をつなぐ プラットホーム形成のための調査研究」を終えて (談話室)	120-5
松 谷 容 作	宇宙から地球をながめる	120-12
松 野 敏 之	石本道明・青木洋司著『論語 朱熹の本文訳と別解』(紹介)	120-3
松 本 勇 介	江戸時代における神道裁許状の様式の変遷	120-6
村 澤 慶 昭	余耀著『中国の日系企業のニーズとビジネス日本語教育』 (書評)	120-1
茂 木 貞 純	皇室祭祀の意義と現状 (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
矢 部 健太郎	中近世移行期の皇位継承と武家権力 (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
山 内 智 子	神谷邦淑「博物館」における引用文献に関する一考察 —ジェームズ・ファーガソン著 <i>History of the Modern Styles of Architecture</i> —	120-10
山 岡 敬 和	天の羽衣考—天皇はなぜ天の羽衣を着るのか— (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11
山 路 敦 史	内海紀子・小澤純・平浩一編『太宰治と戦争』(書評)	120-12
山 田 利 博	「物語」はいつ「閉じられる」のか —「現代常識」が誕生する時—	120-1
山 田 利 博	「物語」の表現方法 —『竹取物語』末尾の「矛盾」を手がかりに—	120-10
山 西 治 男	「英語文学」作品を読む	120-6
山 本 哲 也	「博物館」の用語に関する論文の評価と研究姿勢について (論文評)	120-12
湯 浅 彩 央	叶希著『ビジネス日本語における条件表現 —日本語教育の観点から—』(書評)	120-9
吉 海 直 人	『源氏物語』『疑ひなき儲けの君』考	120-4
吉 田 律 人	京浜工業地帯における浴場業の展開 —昭和戦前期の横浜市鶴見区を事例として—	120-10
吉 永 博 彰	近世大嘗祭に於ける荒見川祓の研究 —儀式次第と作法・祓具の分析を手掛かりとして— (特集 御代替りの歴史と伝統)	120-11

陸	穎 瑤	『源氏物語』漢籍典拠小考	
		—「まことの聖にはしけれ」と「白虹日を貫けり」—	120-8
渡 邊	卓	嵐義人著『余蘊孤抄—碩学の日本史余話』(紹介)	120-4
渡 辺	俊 和	論理と信仰：シドッチからインド仏教 (談話室)	120-6